神奈川県議会議員 西村くにこ

県政報告

発行：2025年7月

［プロフィール］2011年神奈川県議会（川崎区）に初当選。現在、４期目。総務政策常任委員会副委員長／公明党神奈川県議会議員団団長／社会福祉法人川崎いのちの電話評議員／防災士／骨髄バンクドナー登録説明員／認知症サポーターキャラバンメイト／こころサポーター（メンタルヘルス普及促進）／心のバリアフリー推進員（障害者理解促進）／保護司



ホームページ
http:// 西村くにこ .com/
Facebook
https://www.facebook.com/nishimura.kuniko

▲ホームページ　▲ Facebook

県議会報告

警察官の猛暑対策を推進

７月１８日、関東甲信における梅雨明けが、平年よりも１日早く発表され、これからは、一層厳しい暑さが続くと予想されます。温暖化の影響等により、熱中症災害が年々増加していることから、本年６月からは、企業における熱中症対策が義務化されました。猛暑の中を様々な装備をつけてパトロールに従事する警察官においても暑さ対策は必要です。

特注品の空調ベスト

６月９日、神奈川県警は、猛暑に制服で勤務する警察官向けに、空調ファンを内蔵したベストの支給を始めました。これまでも、夏の制服の着用期間を延長したり、首の周りを冷やすクールタオルや紫外線をカットするサングラスなどを活用できるようにしてきましたが、冷却グッズは屋外では長持ちせず、抜本的な解決にはなっていませんでした。公明党は、現場の警察官の声を聞き、神奈川県庁の財政当局や県警本部に対し、空調ベストの導入を訴えてきました。加えて私は、昨年度の防災警察常任委員会で、通常、着衣の上に羽織る空調ベストを、警察官の命を守る「耐刃防護衣」の下に着用できるようにすることが必要と要望しました。これを受け神奈川県警は、防護衣の下に着る特注品を完成させました。



警察官の装備は約５キロ！？

県警と業者で試作を重ねながら完成した空調ベストは、着用時に空気の通り道を確保するためのクッションを装備し、約９００グラムという軽さも実現できました。空調ベストの上に着る鉄板の入った耐刃防護衣は、重さが約３キログラム、装備の総重量は約５キログラムもあるためです。ファンから出る冷風の強度は４段階、暑さに応じて風量の調整もできます。支給の対象は、機動隊員や地域の警察官で、約６２００着を用意しています。

この夏も県内では数多くのイベントが開催され、８月に横浜で開かれるアフリカ開発会議には世界から要人をお迎えします。空調ベストが、警察官の熱中症防止の一助となり、安全・快適に任務遂行できることを期待します。